

シリーズ「この人にきく」

児童発達支援センター 副センター長

ほこやま のりこ
鋒山 智子 さん

4月に着任されましたので、お話を伺いました。

花ノ木

第 107 号

令和2年7月26日

花ノ木医療
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

*ご経歴と花ノ木に来られた経緯を教えてください。

もともと小学校教員だったんです。特別支援教育が始まり、府の体制作りの時にちょうど障害児学級や通級の担当をしていたので、巡回相談員として15、16年仕事をしました。小中学校だけではなく、高校の体制整備とか、高校から大学への学生支援というところまで取り組みました。退職時に振り返ってみますと、やっぱり子どもたちの前にいたいなあという思いが残り、花ノ木さんにご縁ができて、来させていただきました。

*実際に花ノ木に来られての印象はどうですか？

何度か来たことはあったのですが、実際に中に入ると、すごく大きくてたくさん働いていらつしやることに改めてびっくりしました。

*今後の花ノ木での目標などを教えてください。

第一が、放課後デイの立ち上げです。職員公募で、名前は「ココはなのき」に決まりました。



現在、看板案を熟慮中で、少し時間は掛かっていますが、承認されたら皆さんに広報をさせていただきます。

*楽しみます。概要もお聞かせ下さい。

おひさまの療育は充実していますが、学齢期のスタートにもう少し応援した方がいいケースもあるのではないかなと思ってたんです。そこで丁寧なアセスメントして必要な力をつけることで、その先の長い学校生活を守ってあげられるとしたら、花ノ木ならではの放課後デイが作れるのではないかと思います。スタッフと経過をみながら、いい育ちを応援できるんじゃないかなって私自身はすごく期待しています。指導する側なんですけどね(笑)

*ご趣味は？

似合わないと言われますが、茶道と華道。日本文化が大好きなんです。一応煎茶道の師範を持っていて、退職後は、お茶の教室でもと思ってたんですけれど。今は生活の中で楽しめたらと思います。

*現在休日はどうのように過ごされていますか？

親の介護です。別居ですが、両方の親が一人ずつで、あっち行きこっち行き。働く女性で、定時を守る職場はありがたいと思うんです。男女平等といっても、子育て期とか介護期とか、肩にかかりますよね。一番しんどい思いをしている人が離職しないで済む職場、というのが大事だなと思うから、その応援はぜひしたいなと思います。

*職場にそういう雰囲気があるだけで、忙しくてもちよつと頑張れますね。

「明日できることは明日にし！」ってほんとにね、言える(笑)。忙しい中、若い方は気持ちの葛藤があたりだと思ってしまうけど、一生懸命工夫することがきつと充実した仕事に繋がるだろうし、そこで無理しないっていうのが、したい仕事を長く続けられるということかなと思います。

私が教員として採用された頃は、先輩に「プール入って流産している人もたくさんいたんですよ。踏ん張れ」って言われたんです。今は、妊娠障害休暇っていう、安全に産む配慮が最大限できるようになっているけど、それは同僚や先輩が、これは悲しいって色々やり取りする中で徐々にできてきた制度で。だから、今働く方は、福利厚生が当り前にあるものではなく、色々先輩方が苦労し、頑張ってきたからこそ思ってもらえたらと思います。

*メッセージをお願いします。

まだまだ1年目で、若葉マークバーン！つけていますので、よろしくお願いします。

*穏やかにたくさんのお話をしてくださいました。インタビュ後、編集委員に「趣味のことを聞かれたけど、私やっばり子どもが好きなんだなあと思ったわあ」と呟かれたのが印象的でした。煎茶道、興味ある方はぜひ鋒山先生にお声かけ下さい！

(聞き手) 高橋良子編集委員、
星野聡美編集委員

○社会福祉法人花ノ木 令和元年度会計決算が、6月5日開催の理事会、6月24日開催の評議員会において認定されましたので、定款第32条の規定により公告します。

令和元年度 資金収支計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予 算(A)	決 算(B)	差異(A)－(B)	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	821,510,000	835,406,133	△13,896,133
		医 療 事 業 収 入	1,318,321,000	1,340,771,441	△22,450,441
		喀痰吸引等研修事業収入	550,000	452,000	98,000
		借入金利息補助金収入	519,000	519,630	△630
		経常経費寄附金収入	10,000	103,600	△93,600
		受取利息配当金収入	4,000,000	4,423,949	△423,949
		そ の 他 の 収 入	2,691,000	3,330,441	△639,441
		事業活動収入計(1)	2,147,601,000	2,185,007,194	△37,406,194
	支出	人 件 費 支 出	1,694,843,000	1,643,566,866	51,276,134
		事 業 費 支 出	220,186,000	208,145,757	12,040,243
		事 務 費 支 出	156,593,000	136,066,150	20,526,850
		支 払 利 息 支 出	1,129,000	1,128,222	778
		そ の 他 の 支 出	610,000	609,285	715
		事業活動支出計(2)	2,073,361,000	1,989,516,280	83,844,720
	事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)		74,240,000	195,490,914	△121,250,914
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	200,000	1,252,360	△1,052,360
		施設整備等寄附金収入	11,000,000	11,000,000	0
		施設整備等収入計(4)	11,200,000	12,252,360	△1,052,360
	支出	設備資金借入金元金償還支出	21,102,000	21,102,000	0
		固定資産取得支出	121,554,000	117,151,483	4,402,517
		ファイナンスリース債務の返済支出	5,291,000	4,458,147	832,853
		施設整備等支出計(5)	147,947,000	142,711,630	5,235,370
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)		△136,747,000	△130,459,270	△6,287,730
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	103,932,000	0	103,932,000
		その他の活動収入計(7)	103,932,000	0	103,932,000
	支出	積立資産支出	36,425,000	90,783,281	△54,358,281
		その他の活動支出計(8)	36,425,000	90,783,281	△54,358,281
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)		67,507,000	△90,783,281	158,290,281
予備費支出(10)		5,000,000		5,000,000	
		0		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)		0	△25,751,637	25,751,637	
前期末支払資金残高(12)		514,654,016	514,654,016	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		514,654,016	488,902,379	25,751,637	

令和元年度 事業活動計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	835,406,133	817,852,895	17,553,238
		医療事業収益	1,340,771,441	1,318,415,671	22,355,770
		喀痰吸引等研修事業収益	452,000	592,000	△140,000
		経常経費寄附金収益	103,600	3,890,000	△3,786,400
		その他の収益	2,004,641	2,063,650	△59,009
		サービス活動収益計(1)	2,178,737,815	2,142,814,216	35,923,599
	費用	人件費	1,646,626,466	1,604,216,471	42,409,995
		事業費	208,586,946	203,204,781	5,382,165
		事務費	136,066,150	131,886,189	4,179,961
		減価償却費	130,516,046	120,618,290	9,897,756
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△29,009,376	△30,121,261	1,111,885
		サービス活動費用計(2)	2,092,786,232	2,029,804,470	62,981,762
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		85,951,583	113,009,746	△27,058,163	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	519,630	652,390	△132,760
		受取利息配当金収益	4,423,949	2,257,457	2,166,492
		その他のサービス活動外収益	1,325,800	1,373,317	△47,517
		サービス活動外収益計(4)	6,269,379	4,283,164	1,986,215
	費用	支払利息	1,128,222	1,289,777	△161,555
		その他のサービス活動外費用	609,285	551,655	57,630
		サービス活動外費用計(5)	1,737,507	1,841,432	△103,925
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,531,872	2,441,732	2,090,140
経常増減差額(7)=(3)+(6)		90,483,455	115,451,478	△24,968,023	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,252,360	752,360	500,000
		施設整備等寄附金収益	11,000,000	0	11,000,000
		固定資産売却益	0	320,000	△320,000
		特別収益計(8)	12,252,360	1,072,360	11,180,000
	費用	固定資産売却損・処分損	21	9,551	△9,530
		国庫補助金等特別積立金積立額	200,000	200,000	0
		特別費用計(9)	200,021	209,551	△9,530
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	12,052,339	862,809	11,189,530
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		102,535,794	116,314,287	△13,778,493	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		1,534,227,535	1,550,684,248	△16,456,713
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,636,763,329	1,666,998,535	△30,235,206
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		90,783,281	132,771,000	△41,987,719
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,545,980,048	1,534,227,535	11,752,513

貸借対照表

令和2年3月31日 現在

(単位：円)

◆資産の部		退職給付引当資産 868,656		◆純資産の部	
流動資産	593,813,793	その他の積立資産 1,740,429,722		基本金	462,820,387
現金預金	209,521,821	資産の部合計 4,633,734,134		基本金	462,820,387
事業未収金	351,353,674	◆負債の部		国庫補助金等特別積立金	450,015,465
未収補助金	26,525,870	流動負債	213,265,449	国庫補助金等特別積立金	450,015,465
医薬品	1,963,573	事業未払金	57,724,271	その他の積立金	1,740,429,722
立替金	401,787	1年以内返済予定設備資金借入金	17,192,000	その他の積立金	1,740,429,722
前払費用	4,047,068	1年以内返済予定リース債務	3,582,708	次期繰越活動増減差額	1,545,980,048
固定資産	4,039,920,341	未払費用	41,028,083	次期繰越活動増減差額	1,545,980,048
基本財産	2,159,248,760	預り金	41,186	(うち当期活動増減差額)	102,535,794
土地	459,729,760	職員預り金	3,637,661	純資産の部合計	4,199,245,622
建物	3,703,292,793	仮受金	10,440	負債及び純資産の部合計	4,633,734,134
減価償却累計額	△ 2,003,773,793	賞与引当金	89,542,900		
その他の固定資産	1,880,671,581	未払消費税	506,200		
構築物	28,624,190	固定負債	221,223,063		
車輜運搬具	23,450,555	設備資金借入金	214,248,000		
器具及び備品	303,872,189	リース債務	6,106,407		
減価償却累計額	△ 253,528,955	退職給付引当金	868,656		
有形リース資産	20,913,924	負債の部合計	434,488,512		
ソフトウェア	16,041,300				

掲示板

新型コロナウイルス対策



編集委員より、「事務部長、地域支援部長のそれぞれの立場で新型コロナウイルス対策について」原稿を、ということなので少し紙面をお借りします。

まずは事務局として、報道等で「マスク不足」が問題となっていました。この間、行政等からの配布や寄付があり、都合5ヶ月分の備蓄を確保できています。特に、4月政府から発表があった、第2次コロナ対策として、「国が1,500万枚確保し医療機関に優先的に配布する」とされた、アベノマスクじゃない？ ウイルスを通してにくい医療用マスクが、5月初旬に5,000枚届きました。こちら(?)のマスクは入手し難く、早くに配布されたので大変重宝しています。…ですが、これで、万全という訳にはいきません。

考えたくありませんが、万が一、入所者に新型コロナウイルス陽性者が確認され転院先が無かった場合、「どのように支援する?」「誰が支援する?」等、準備が必要です。仮に花ノ木で支援するとした時、報道でみる宇宙服のような防護服と、先述の医療用マスクより、更にウイルスを通してにくい、最上位の医療用マスクの確保は必須です。現時点において、十分あるとは言えませんが、この紙面がでる頃には一定数確保できていると思います。

最後に、地域支援部として、4月の緊急事態宣言を受けて、地域支援にかかわるすべての事業の利用自粛をお願いしましたところ、多数の利用者の皆様に、ご理解ご協力いただき、結果、密を避けることで、第1派の感染を防ぐことができました。誠に感謝いたします。引き続き、「利用者の命を守る」を合言葉に、施設で取り組んでまいります。

(事務局・地域支援部 部長 安部正徳)

花ノ木の動き

(令和二年一月一日〜令和二年六月三十日)

1/6	仕事始めの式
	大原医療福祉製菓専門学校
	社会福祉士実習(18)
7	所内研修「防災対策」(亀岡消防署)
9	所内研修「後期医療安全」
12	亀岡市消防出初め式
14	聖カタリナ高等学校 見学・実習(2/14)
21	医療監視
30	明治国際医療大学 見学・実習
2/3	光華女子大学 保育実習(17)
12	京都保健専門学校 リハビリ見学実習(26)
17	光華女子大学 保育実習(3/2)
20	所内研修「事例研究大会」
	第13回地域福祉を考える集い
3/2	聖カタリナ高等学校 見学・実習(28)
25	聖カタリナ高等学校 見学・実習
4	実地指導
12	理事会
31	退職者辞令交付式
4/1	辞令交付式
	新規採用職員オリエンテーション(2)
8	所内研修「令和2年度事業方針・事業計画」
10	慰霊祭
13	新規採用職員研修「系統的理解Ⅰ」
3/5	新規採用職員研修「系統的理解Ⅱ」
16	理事会
24	関西電力 植樹 評議員会

ありがとうございました

寄付・寄贈 (敬称略)

◎ 寄附

星和電機工事株式会社

編集後記

小学生の頃、遊び場だったひとつに「明智藪」と言う、「明智光秀」が最後を遂げた場所と言われている竹藪がありました。

細長い一本道の両脇からうつそうと竹が生い茂り、薄暗いトンネルの様。怖くて昼でもとてもひとりでは行けないのに、追い討ちをかけたのが藪のすぐ隣にあるお寺の住職や担任の先生から聞かされた藪にまつわる怖い話。

でも、そこを抜けると少し明るくなり、その先にある田んぼや畑でよく釣りや虫取りをして遊びました。大人になった今も怖いと感じるのかな? 機会があれば行ってみたいです。

最近、彼に対する研究が進み、今までのダークなイメージが変わりつつあります。実は部下としては大変優秀で地元の人達にも慕われ、愛妻家でもあったそう。

私にとっては、怖さのあまり竹藪の中を友達と手を繋ぎ、歌を歌いながら必死で走り抜けた事や、その途中にポツンと建っている明智藪とだけ文字が彫られた石碑等、懐かしいあの頃を思い出させてくれる人物です。

(編集委員 松島 幾馬)

※明智藪…京都市伏見区小栗栖小阪町 本教寺寺領となっています。